令和５年度和名ケ谷中学校　２学期学習の指針（シラバス）

教　科	英語	学　年	１年

１　学習の目的

◆自分の事についてより詳しく相手に伝えると同時に、他者についても英語で表現をできるようにする。
◆英会話活動を通して、相手の言っていることを理解し、会話の内容をより深めるための質問やリアクションをできるようにする

２　学習計画

	学習内容	学習のねらい
２ 学 期	Unit3-4 ・疑問詞 ・複数形 ・命令文	『環境問題についてポスターを制作することができる』 ・環境問題に目を向けて、自分にできることは何か考える力を養う。 ・３Ｒｓなどの解決策を参考に、ポスターを通して自分の意見を発信する力を養う。
	Unit5 ・前置詞 ・動名詞 ・基本的な過去形	『夏休みの思い出を発表することができる』 ・自分のしたことや出来事を相手に伝える力を養う。 ・好きな事や楽しんだこと、得意なことを相手に伝える力を養う。
	Unit6-7 ・三単現のｓ ・人称代名詞	『自分の家族や友達を紹介することができる』 ・自分以外の物や人について説明したり質問したりする力を養う。
	Unit8 ・現在進行形 ・感嘆文	『Skit を通して自分のしていることを表現することができる』 ・状況を説明したり自分が今していることを伝える力を養う。 ・仲間と協力しながら１つの作品(Skit)を作り上げる。

３　評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	単語や文法について理解しているとともに、それらを運用する技能が身に付けている。	・定期考査　・授業内テスト ・アセスメント
思考・判断・表現	与えられた課題に対し、知識及び技能を活用しながら自分なりに解決策を見いだす力を身に付けている。	・定期考査　・授業内テスト ・アセスメント
学びに向かう姿勢	自己調整を図りながら、より良い問題解決策を模索する姿勢や主体的に取り組む姿勢が身に	・アセスメント ・振り返り用紙

	ついている。	・ワークの取り組み具合

4　使用する副読本

題名	出版社
Joyful Workbook	新学社

令和５年度和名ケ谷中学校　２学期学習の指針（シラバス）

教　科	英語

学　年	２学年

１　学習の目的

◆外国語の音声や、語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技術を身につけるようにする。

◆コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について英語で情報を理解し、表現できるようにする。

２　学習計画

	学習内容	学習のねらい
２学期	◆Unit 3 My Future Job ・不定詞	『自分の興味のある職業について発表しよう』 ・自分が体験したことや学んだことについて、たずねたり伝えたりすることが出来る。
	◆Unit4 Homestay in the United States ・助動詞	『日本の習慣やマナーについて伝えよう』 ・日米の生活習慣や文化の違いを知り、ともに暮らすヒントを考える。
	◆Unit 5 Universal Design ・疑問詞＋to　不定詞 ・主語＋be 動詞＋形容詞＋that	『自分のしてみたいことや興味のあることについて伝えよう』 ・誰もが使いやすいものや暮らしやすい社会について考える。
	◆Unit 6 Research Your Topic	『オリジナル商品を開発し、CM を作ってみよう』 ・身近なトピックを通して、調査や発表の効果的なやり方について考える。

	・比較表現	

3　評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	単語や文法について理解しているとともに、それらを運用する技能が身につけている。	・定期考査　　・単元テスト ・アセスメント
思考・判断・表現	与えられた課題に対し、知識及び技能を活用しながら考えを見出す力を身につけている。	・定期考査　　・アセスメント
学びに向かう姿勢	振り返りを行い、課題に対して探求する姿や主体的に取り組む姿勢が身についている。	・アセスメント・振り返り用紙 ・単元テスト ・ワーク、ノート等の取り組み

4　使用する副読本

題名	出版社
JOYFUL WORK BOOK 2	新学社

令和５年度和名ケ谷中学校　２学期学習の指針（シラバス）

教　科	英語	学　年	３年

1　学習の目的

◆日常的な話題について、文章の概要を捉えて必要な情報を読み取ることができる。

◆社会的な話題に関して、聞いたり読んだりしたことについての自分の思いや考えを相手に伝えることができるようになる。

2　学習計画

	学習内容	学習のねらい
２学期	Unit3 ・It is 形容詞 for 人～ to 構文 ・want 人 to 構文 ・使役動詞	『自分の意見や考えを加えて、動物についてまとめることができる』 ・絶滅危惧種の動物達とその周りで起きている自然環境について調べる。
	Stage Activity ・既習文法	『これまでの経験を振り返り、活動報告を発表することができる』 ・既習文法を使い、部活や委員会などでの活動をまとめる。
	Unit4 ・関節疑問文 ・現在分詞 ・過去分詞	『防災標識を作り、相手に内容を伝えることができる』 ・地震にあった人のインタビュー記事を読み、海外の人が日本での震災を経験し感じた事を読み解く。
	Unit5	『偉人の伝記を読み人権や社会運動について学び、自分の尊敬

	・関係代名詞	する人や偉人を紹介することができる』 ・人権について自分の意見を発表することができる。
	Unit6 ・仮定法	『架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる』

3　評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	単語や文法について理解し、それらを運用する技能が身に付けている。	・定期考査　　・単元テスト ・アセスメント・単語テスト
思考・判断・表現	与えられた課題に対し、知識及び技能を活用しながら自分や自分の身近なことについて表現する力が身についている。	・定期考査　　・単元テスト ・アセスメント
学びに向かう姿勢	学んだことを自分の言葉で説明したり、振り返りを行ったりして主体的に取り組む姿勢が身についている	・アセスメント ・振り返り用紙 ・単元テスト

4　使用する副読本

題名	出版社
Joyful Workbook	新学社